



さんが

第 九二 号

平成 二九 年
西暦 二〇一七 年
正月 号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五-六三一-二二七二

FAX 六三一-五七二五

E-MAIL sanga@tounji.net

謹賀新年

玉龍山東運寺

住職 柳田彰宣

東堂 泰明

寺族 マヤ

妙子



画 妙子



アメリカの次期大統領がトランプ氏に決まり、世界が驚きました。それによって、アジアの行く末がどう変わっていくのかも気になりますね。世界史において、大きな動きが今起こっているという印象です。

過激な物言いが、人気を博したのでしょうか。自国中心の、保護主義といわれる主張が支持されるのは、現代の社会に、きびしい格差があるからだと分析されてもいるようです。

国境を越え、格差の憎しみを越えるために、お互いの寄って立つところに、敬意をはらえる社会であってほしいですね。

ご本尊さまのもと、東運寺も新しい年をむかえました。檀信徒皆さまのご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

団参に、行ってきました

昨秋、十一月九日から十日にかけて、恒例の檀信徒参拝旅行に、岡山方面まで行ってまいりました。

東運寺からは、住職夫婦をふくめ八名が参加。水墨画の巨匠、雪舟が小僧時代を過ごした臨濟宗宝福寺、三大名園のひとつ後楽園、素朴な味わいが魅力の備前焼の窯元など、日本を代表する美の故郷を堪能してきました。

宿泊した湯郷温泉は新しく上品なお宿で、ゆっくりと名湯につかっていただけたことと思います。

団参は毎年あります。来年も多くのみなさまとごいっしょができますよう、お待ちしております。



宝福寺の仏殿です。

中には、雪舟が涙で鼠を描いたエピソードを紹介する、パネルが飾られていました。



今年の干支は「丁酉（ひのととり）」です。

酉という字は「果実の熟した状態」という意味で、そこから、酉年は商売が熟し、大きな成果が得られる年と伝えられているようです。熟するときは今年ならば、待ち遠しい気持ちになりますね。

経営の神さま、とうたわれた松下幸之助さんに、「現在与えられた、今の仕事に打ち込めないような心構えでは、どこの職場に変わっても、決していい仕事はできない」という言葉があると聞きました。

お釈迦さまも、商売をする人には、たくさん儲けるように説いていたそうです。たくさん儲けられたなら、その分を分かち合うことができるからです。

どちらにも実践するとなると、なかなか厳しい言葉ですね。こういう心構えを持てたなら、熟するときは、すぐそこに来ているのかも知れません。



↑ホームページこちらからも

東運寺ホームページは→

京都 東運寺

検索